

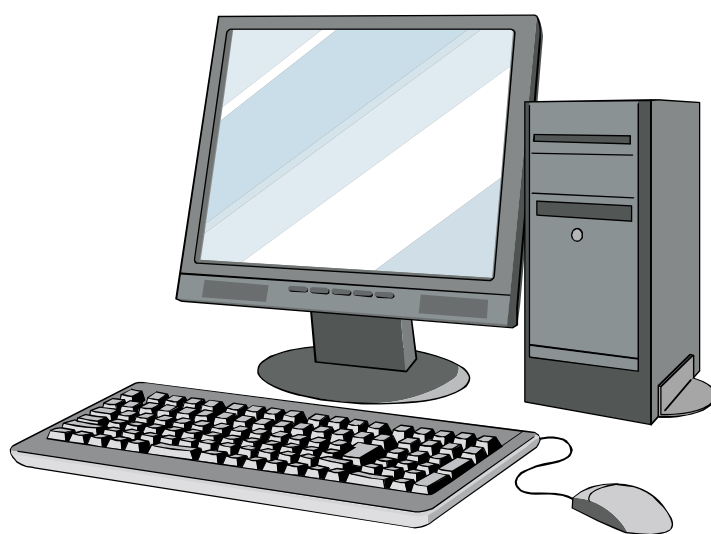
法人インターネットバンキングサービス

朝日ビジネスWEB

THE ASAHI SHINKIN BANK BUSINESS WEB

操作説明書

Operation Manual



第5版

2014年10月作成



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

<http://www.asahi-shinkin.co.jp>

はじめに

このたびは、朝日ビジネスWEB（法人インターネットバンキング）をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

朝日ビジネスWEBのご利用に際しては、本操作説明書に記載されている操作方法、注意事項をよくお読みいただき、正しい操作によってご利用になるようお願いいたします。

本操作説明書で使用する画面は、色、ボタンの形状、各種メニュー押下時のリスト出力の形状等が、実際の画面表示と異なる場合がありますので、操作の目安としてご利用ください。

- 本操作説明書は日本国内向けです。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービス（機能）が限定されます。
- 本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（本操作説明書裏表紙に記載）までご連絡ください。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。

目次

I. 基本

第1編	朝日ビジネスWEBの概要	1-1
1章	朝日ビジネスWEBの特徴	1-1
2章	基本操作	1-5
第2編	システム利用前の準備作業	2-1
1章	準備作業の流れ	2-1
2章	必要なものを用意する	2-2
第3編	管理者の準備作業	3-1
1章	サービス利用開始までの流れ	3-1
2章	運用準備をする	3-2
3章	管理者の開通確認を行う	3-5
4章	管理者の電子証明書を取得する（電子証明書方式の場合）	3-9
5章	利用者の登録および利用者の電子証明書の発行を行う	3-13
6章	利用者ワンタイムパスワードを発行する	3-16
7章	その他の各種設定を行う	3-17
8章	利用者へ通知する	3-18
第4編	利用者の準備作業	4-1
1章	サービス利用開始までの流れ	4-1
2章	管理者からの利用登録完了後の通知項目を受取る	4-2
3章	利用者の電子証明書を取得する（電子証明書方式の場合）	4-3
4章	利用者の開通確認を行う	4-7
第5編	ログオン/ログオフ	5-1
1章	管理者のログオン/ログオフ	5-1
2章	利用者のログオン/ログオフ	5-7
第6編	管理者が行う業務	6-1
1章	ご契約先情報の管理	6-1
2章	契約口座情報の管理	6-4
3章	利用者の管理	6-6
4章	ファイル伝送契約情報の管理（ファイル伝送をご契約の場合）	6-16
5章	ご契約先限度額の管理	6-17
6章	振込手数料マスタの管理	6-18
7章	各マスタデータの一括削除	6-24
8章	利用状況の確認	6-25
9章	電子証明書の更新	6-27
第7編	利用者が行う業務	7-1
1章	利用者情報の変更	7-1
2章	利用者情報と利用状況の照会	7-4
3章	電子証明書の更新	7-5

II. オンライン取引

第1編	オンライン取引の種類	1-1
第2編	残高照会	2-1
第3編	入出金明細照会	3-1
第4編	資金移動	4-1
1章	資金移動（振込、振替）を行う	4-1
第5編	資金移動予約照会・取消	5-1
1章	資金移動予約を取り消す	5-1
2章	資金移動予約を照会する	5-3
第6編	取引履歴照会	6-1
第7編	資金移動先口座情報の編集	7-1
1章	資金移動先口座情報を登録する	7-2
2章	登録済の資金移動先口座情報を修正する	7-4
3章	登録済の資金移動先口座情報を削除する	7-6
第8編	税金・各種料金の払込み（ペイジー）	8-1
1章	税金・各種料金を払込む（オンライン方式）	8-2
2章	税金・各種料金を払込む（情報リンク方式）	8-8
3章	払込み履歴を照会する	8-11

III. ファイル伝送

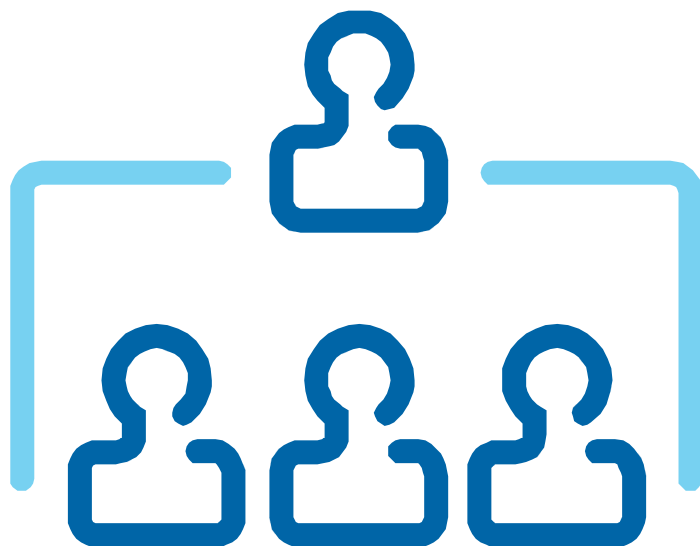
第1編	ファイル伝送の種類	1-1
第2編	総合振込	2-1
1章	業務の流れ	2-1
2章	受取人マスタを登録する	2-2
3章	振込データを作成する	2-14
4章	振込データを承認する	2-22
5章	振込データを送信／再送信する	2-23
6章	振込データを印刷する	2-25
第3編	給与・賞与振込	3-1
1章	業務の流れ	3-1
2章	従業員マスタを登録する	3-2
3章	振込データを作成する	3-13
4章	振込データを承認する	3-20
5章	振込データを送信／再送信する	3-21
6章	振込データを印刷する	3-23
第4編	預金口座振替	4-1
1章	業務の流れ	4-1
2章	支払人マスタを登録する	4-2
3章	振替データを作成する	4-13
4章	振替データを承認する	4-20
5章	振替データを送信／再送信する	4-21
6章	振替データを印刷する	4-23

7章	振替結果データを受信／再受信する	4-25
第5編	外部ファイルの送信	5-1
1章	業務の流れ.....	5-1
2章	送信テーブルを作成する	5-2
3章	外部ファイルを送信する	5-6
4章	外部ファイルの送信結果を印刷する	5-9
第6編	外部ファイルの受信	6-1
1章	業務の流れ.....	6-1
2章	受信テーブルを作成する	6-2
3章	結果データを全銀フォーマットで受信する	6-5
4章	外部ファイルの受信結果を印刷する	6-8
第7編	その他共通機能	7-1
1章	各マスタに検索グループ名称を登録する	7-1
2章	各マスタを CSV データでダウンロードする	7-2
3章	各マスタを呼び出す.....	7-3
4章	振込／振替データ送信前チェック	7-4
5章	振込／振替データを個別入力する	7-5
6章	振込／振替データを外部データを利用して一括作成する	7-7
7章	振込／振替データをダウンロードする	7-9
8章	依頼人／委託者マスタを参照する	7-10
第8編	CSV ファイル仕様.....	8-1
1章	各マスタの取込可能な CSV ファイル仕様.....	8-1
2章	振込／振替用データの取込可能な CSV ファイル仕様	8-3
IV. その他		
F A Q		1-1

<別冊>

『朝日ビジネスWEB』操作説明書・別冊 ご利用推奨環境とパソコンの設定

I. 基本



第1編 朝日ビジネスWEBの概要

本編では、朝日ビジネスWEBの概要および基本的な操作について説明します。

1章 朝日ビジネスWEBの特徴

1.1 朝日ビジネスWEBとは

朝日ビジネスWEBとは、インターネットを経由してお客さまのお手持ちのパソコンと当金庫とをオンラインで結び、インターネット閲覧用（ブラウザ）ソフトからご利用口座にかかる各種取引をしていただき、また、各種情報をご参照いただけるサービスです。



- インターネットに接続されているパソコンなら利用可能
インターネットに接続されているパソコンから利用が可能です。インターネットに接続されている社内LANがあれば、専用のパソコンや新たに専用回線を引く必要はありません。
- 朝日ビジネスWEBの本人確認方式
朝日ビジネスWEBをご利用になる際の本人確認方式として、以下の2種類をご用意しています。
 - ◆電子証明書方式
お客様のパソコンにあらかじめ取得した電子証明書とパスワードにより、お客様本人であることを確認する方式です。なお、電子証明書をご利用になる場合は事前に電子証明書の発行および取得が必要です。
 - ◆ID・パスワード方式
IDとログインパスワードを用いてお客様本人であることを確認する方式です。この方式においては、セキュリティ強化のために資金移動取引等に都度異なる可変パスワード（利用者ワントタイムパスワード）を併用することを推奨します。

● 利用者の権限設定

お客さまが「朝日ビジネスWEB」をご利用になる組織、部署や体制にあわせて、複数の利用者を登録することができます。この「利用者」には個別に権限を設定することができます。

具体的には以下の2つを利用者に対して設定することで、お客さまの業務に合わせることができます。

- ◆取引、機能の利用可否
- ◆取引金額の上限

補足

◆朝日ビジネスWEBには管理者と利用者があります。

・管理者

管理者は、複数の利用者を登録することができます。また、利用者毎に権限を設定することができます。

・利用者

利用者は、管理者が設定した権限内での各種取引を実行することができます。

参照

◆管理者／利用者の詳細については、「1. 基本 第3編 2章 2.1 管理者と利用者について」参照

● マスタデータの登録

お客さまが、ご利用になる振込先などのマスタデータは、すべて朝日ビジネスWEBに登録することができます。

● 金融機関情報のご提供

朝日ビジネスWEBでは、常に最新の金融機関情報をご提供します。そのため、お客さまによる更新作業などは必要なく、常に最新の金融機関情報をご利用いただくことができます。

補足

◆登録済の振込先口座の金融機関名称、支店名は更新されません。

● 汎用ソフトの利用

朝日ビジネスWEBは、「Microsoft Internet Explorer」などの無償のブラウザソフトを通じて利用することができます。ファームバンキング（以下、FBという）ソフトのような専用ソフトを導入する手間やコストがかかりません。

● 既存データの利用、他ソフト作成データの利用

今までFBソフトをご利用のお客さまは、振込先などのマスタデータを全銀フォーマットに変換することにより、朝日ビジネスWEBでも利用することができます。また、その他ソフトで作成したデータについても、全銀フォーマットやCSV形式ファイルにすることで利用することができます。

1.2 ご利用時間

ご利用時間については、ホームページを参照ください。

サービスのご案内ページのURL：

<http://www.asahi-shinkin.co.jp/abw/annai/annai.html>

1.3 セキュリティについて

インターネット上でのセキュリティを確保するためには、セキュリティ対策ソフトの導入、OSやブラウザのアップデートの実施等、パソコン上での十分な対策が必要です。

朝日ビジネスWEBでは、以下のセキュリティ対策を行っておりますので、安心してお取り引きしていただけます。

- 契約者ID（利用者番号）と利用者IDでお客さまを特定
契約者ID（利用者番号）とは、管理者用のIDであり、朝日ビジネスWEBをご利用の都度、確認させていただく11桁の番号です。口座番号と異なるお客さま固有の番号であり、朝日ビジネスWEBでは、このIDによりお客さまを特定いたします。
また、利用者IDとは、お客さまの利用者ごとに設定していただく半角英数字1～30桁の文字であり、このIDによりお客さまの各利用者を特定いたします。

参照

◆管理者および利用者の権限については、「I. 基本 第3編 2章 2.2 権限について」参照

- 7つの暗証番号を確認
朝日ビジネスWEBをご利用いただく際には、お取引の内容に応じて、以下の暗証番号を入力していただき認証を行います。
 - ◆ご契約先登録用暗証番号
 - ◆ご契約先暗証番号
 - ◆ご契約先確認暗証番号
 - ◆利用者暗証番号
 - ◆利用者確認暗証番号
 - ◆可変パスワード（ご契約先ワンタイムパスワード／利用者ワンタイムパスワード）
※ご契約先ワンタイムパスワードは、確認用パスワードとして「お客様カード」に記載

重要

◆「お客様カード」は、朝日ビジネスWEBを利用する上で重要なカードです。不正に利用されないよう、管理者の方は厳重に管理されるようお願いいたします。
また、紛失された場合には、すみやかに当金庫へご連絡ください。

補足

◆朝日ビジネスWEBにおける「ご契約先ワンタイムパスワード」および「利用者ワンタイムパスワード」は、いわゆるトークンを用いた1回限りの使い捨ての“ワンタイムパスワード”とは別のものです。

- 自動終了方式を採用
朝日ビジネスWEBを15分以上、端末の操作をされずに放置されますと、自動的にシステムを終了させていただく「自動終了方式」を採用しています。
- ログオン認証に電子証明書方式を採用
お客さまのパソコンに電子証明書をインストールすることにより端末認証を行います。IDとパソコンが対応付けられ、電子証明書がインストールされた特定のパソコンのみ、ログイン認証ができるようになるため、ID・パスワード方式認証に比べ、一層の安全性を確保することができます。
- 二重ログオンを規制
同一の「契約者ID」および「利用者ID」による二重ログオンについては、システム側で規制します。

- Eメールによる通知
各種暗証の変更時やパスワードロック時に、お客さまに対してEメールが送信されます。不正利用の早期発見につながります。
- セキュアメールを採用
Eメールに電子証明書を利用した電子署名を付与します。(セキュアメールIDを導入)
Eメールの送信元の実在性、およびEメールの内容が通信途中で改ざんされていないことの確認ができ、フィッシング対策として有効です。
なお、S/MIME※未対応のEメールソフトウェア(ウェブメール、モバイルやスマートフォンのメールソフト等)では電子署名をご利用いただけません。

※S/MIME(エスマイム)とは、「Secure Multipurpose Internet Mail Extensions」の略。電子メールの暗号化方式の標準です。

- 256ビットSSLに対応している暗号通信方式を採用
SSLとは、「Secure Socket Layer」の略。インターネット上で、データ通信を行う際に利用される暗号通信方法の1つです。朝日ビジネスWEBでは、そのなかでも、現時点でもっとも解読が困難といわれている256ビットに対応したSSL方式を採用しておりますので、インターネット上でのお客さまとの情報のやりとりは安全に行われます。
なお、Windows XPにおいては、SSLが機能しない脆弱性が指摘されているのでご注意ください。
- EV-SSL証明書を採用
EV-SSL証明書とは、「Extended Validation SSL証明書」の略で、認証局の厳格な審査をクリアした企業だけが導入可能です。「Internet Explorer 8.0」等の高セキュリティのブラウザから朝日ビジネスWEBにアクセスした際に、ブラウザのアドレスバーが緑に変わり、ホームページの運営企業名もしくは証明書を発行した認証局名の情報が表示されるため、フィッシングサイトとの判別が視覚的にできるようになります。
- ソフトウェアキーボード※を採用
ログオンパスワードを入力する際、キーボードから入力情報を盗むキーロガー型のスパイウェア対策として、ソフトウェアキーボードのご利用をおすすめします。
※ソフトウェアキーボードとは、画面上にキーボードを表示してマウスでキーをクリックすることで、パスワードなどを入力することができるソフトウェアです。

参照

◆ソフトウェアキーボードの詳細については、「I. 基本 第1編 2章 2.3 ソフトウェアキーボードについて」参照

【お願い】

キーロガー型以外のスパイウェアやその他の悪意をもった不正プログラムがありますので、セキュリティ対策ソフトウェアの導入、OSやブラウザのアップデートの実施等、十分なセキュリティ対策を実施していただきますようお願いします。



2章 基本操作

2.1 管理者画面のメニュー構成

管理者メニューは2階層になっています。メインメニューを選択すると、選択したメニューのサブメニューが表示されます。

The screenshot shows the administrator interface with the following menu structure:

- メインメニュー (Main Menu):**
 - ご契約先認証情報変更
 - ご契約先管理情報変更
 - ご契約先情報照会
- サブメニュー (Sub-menu):**
 - ご契約先暗証番号変更
 - ご契約先確認暗証番号変更
 - ご契約先Eメールアドレス変更

The interface also displays user status information for '法人018様' (Company 018), including login history and user usage details.

メインメニュー	サブメニュー	参照先
ご契約先認証情報変更	ご契約先暗証番号変更	I. 基本 第6編1章
	ご契約先確認暗証番号変更	
	ご契約先Eメールアドレス変更	
ご契約先管理情報変更	契約口座情報変更	I. 基本 第6編2章
	利用者情報登録/変更	I. 基本 第6編3章
	ファイル伝送契約情報変更/参照 (ファイル伝送ご契約の場合)	I. 基本 第6編4章
	ご契約先限度額変更	I. 基本 第6編5章
	振込手数料マスタ登録/変更/参照	I. 基本 第6編6章
	マスタデータの一括削除	I. 基本 第6編7章
ご契約先情報照会	ご契約先ステータス表示	I. 基本 第6編8章
	操作履歴照会	

2.2 利用者画面のメニュー構成

利用者メニューは2階層になっています。メインメニューを選択すると、選択したメニューのサブメニューが表示されます。



メインメニュー	サブメニュー	参照先
利用者情報変更	利用者暗証番号変更	I. 基本 第7編1章
	確認暗証番号変更	
	E メールアドレス変更	
利用者情報照会	利用者ステータス表示	I. 基本 第7編2章
オンライン取引	残高照会	II. オンライン取引 第2編
	入出金明細照会	II. オンライン取引 第3編
	資金移動	II. オンライン取引 第4編
	資金移動予約取消	II. オンライン取引 第5編1章
	資金移動予約照会	II. オンライン取引 第5編2章
	取引履歴照会	II. オンライン取引 第6編
	資金移動先口座情報(都度指定)編集	II. オンライン取引 第7編
収納サービス	税金・各種料金の払込み	II. オンライン取引 第8編1章、2章
	収納サービス取引履歴照会	II. オンライン取引 第8編3章
ファイル伝送	総合振込	III. ファイル伝送 第2編
	給与・賞与振込	III. ファイル伝送 第3編
	預金口座振替	III. ファイル伝送 第4編
	外部ファイル送受信	III. ファイル伝送 第5編、第6編

2.3 ソフトウェアキーボードについて

(1) 概要

ソフトウェアキーボードとは、画面上にキーボードを表示し、マウスでキーをクリックすることで、ログオンパスワードなどが入力できるソフトウェアです。特にキーボードからの入力情報を盗むキーロガー型のスパイウェアに効果があります。

【お願い】

キーロガー型以外のスパイウェアやその他の悪意をもった不正プログラムがありますので、セキュリティ対策ソフトウェアの導入、OSやブラウザのアップデートの実施等、十分なセキュリティ対策を実施していただきますようお願いいたします。



(2) 使い方

ソフトウェアキーボードは、各暗証の入力にご利用いただけます。

- ① **ソフトウェアキーボードを開く** をクリックします。
⇒ソフトウェアキーボードが起動します。

※キーボードで入力する場合は、「キーボードで入力する」にチェックを入れます。
※画面は、「利用者暗証番号」の入力例を示しています。

※「ご契約先暗証番号」、「ご契約先暗証番号」の入力時には記号は表示されません。

- ② 入力用キーボードで、ご契約先暗証番号または利用者暗証番号を入力します。

※入力した最後の1文字を削除する場合は、**1文字クリア** をクリックします。
※入力したすべての文字を削除する場合は、**すべてクリア** をクリックします。
※暗証番号の入力をやめて、ソフトウェアキーボードを閉じる場合は、**閉じる** をクリックします。この場合、入力した文字は「ご契約先暗証番号」や「利用者暗証番号」入力欄には反映されません。
※暗証入力時に、「このWebページがクリップボードへアクセスするのを許可しますか」というメッセージが表示される場合は、「アクセスを許可する」を選択することにより、引き続き入力が可能となります。

- ③ **OK** をクリックします。

⇒ソフトウェアキーボードが閉じます。

※入力した文字が、「ご契約先暗証番号」または「利用者暗証番号」入力欄に反映されます。

2.4 入力可能文字について

朝日ビジネスWEBで入力可能な文字は、次のとおりです。

(1) システムサポート文字

タイプ	文字
数字	半角の0~9
英字	半角のa~z、A~Z
カナ	半角カナ、半角の濁音(゛)、半角の半濁音(゜)
全角文字	<p>全角文字。 ただし、以下の範囲のS-JIS漢字コードで規定された漢字コードのみとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一水準の漢字コード ・第二水準の漢字コード ・S-JISコードの「ED40~EDFC」(NEC選定IBM拡張文字) ・S-JISコードの「EE40~EEFC」(NEC選定IBM拡張文字) ・S-JISコードの「F040~F9FC」(エンドユーザ定義文字) ・S-JISコードの「FA40~FC4B」(IBM拡張文字)

(2) 項目別入力可能文字

項目	入力可能文字
ご契約先暗証番号、 ご契約先確認暗証番号、 利用者暗証番号、 利用者確認暗証番号	<p>半角数字、半角英字および以下の半角記号(6桁~12桁) () .(ピリオド) -(ハイフン) / { } ` : , # < > * % @ + ; = ? _ ※半角数字のみ、半角英字のみはご利用いただけません。</p>
オンライン取引	<p>半角数字、半角英字、半角空白、半角カナおよび以下の半角記号 () .(ピリオド) -(ハイフン) / ¥ 「 」 ※「EDI情報」、「振込依頼人」については、入力文字を自動的に次のとおり変換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 全角→半角 (2) カナ小文字(っ、ゃ、ゅ、ょ)→カナ大文字(ツ、ヤ、ユ、ヨ) (3) 英小文字(a、b、c、d)→英大文字(A、B、C、D) (4) “ー”(長音)→“-”(ハイフン)
ファイル伝送	<p>半角数字、半角英字、半角空白、半角カナ、以下の半角記号 () .(ピリオド) -(ハイフン) /</p>